

平成30年度 事業報告書

＝ 誰もが安心して暮らすことができる 福祉のまちづくり ＝



社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会

目 次

◎ 事業概況	1
◎ 事業報告	2
◎ 概要・財源状況 報告	22
◎ 介護保険事業 状況報告		
収支の概要	65
事業所別月別 利用者数等	66
収支状況一覧	73
◎ 会務状況		
諸行事	80
理事会	97
評議員会	99
部会・委員会	100

平成 30 年度 事業報告

概 要

□ 社会福祉法改正後の法人としての役割

過疎化による少子高齢化、人口減少が進む「わが浜田市」では、様々な要因から家族や地域の支え合い機能が低下しており、社会的孤立、経済的困窮、貧困の連鎖など従来の制度やサービスの枠組みだけでは十分対応できない多様で重度・高度・複雑なニーズが拡大化しており、関係機関との連携による包括的な支援が必要となっているが、まずは本会においても地域福祉、権利擁護、生活困窮者支援、介護サービス事業の各部署が連携した支援の在り方を探求していくことが一層必要となっている。

平成 29 年度から完全施行となった社会福祉法人制度改革に伴い、社協を始め社会福祉法人にはこれまで以上に高い公共性と公益性が求められており、制度の狭間にある地域課題・生活課題に積極的に対応し、その存在意義を高める取り組みを進めることを目的として市内法人連絡会を開催し、法人間の連携を開始したところである。

一方、国では公的支援の「縦割り」から「丸ごと」への転換、「我が事」・「丸ごと」の地域づくりを育む仕組みへの転換をめざす『地域共生社会』の実現に向けて歩みが進められており、本会でもこの考え方にに基づき、第 3 次地域福祉活動計画の中で制度の枠にとらわれない地域づくりを進めていくための「地域福祉ビジョン」を打ち出し、計画初年度となる本年度においては地域や関係者に計画の周知を進め、今後の取り組みへの一歩を歩み始めたところである。

□ 介護保険等事業

介護報酬改正により、事業全体は引き上げとなっているものの、本会が実施している在宅サービス事業では引き下げとなった事業もあることで厳しい状況は続き、また、今年度は三隅支所居宅介護支援事業の業務不備による多額な返還金が生じたことで、決算もマイナスとなっている。介護分野全体の喫緊の課題でもある人材の確保もできず、人材を増やすことで増収を目指していたが難しい現状であるため、現体制内における効率的な運営を行うことで、更なるマイナス縮小を目標として取り組んでいく必要がある。

そういった現状の中で、平成 30 年度状況の検証に基づいた「第 2 期介護保険事業推進計画」の修正を行い、また地域包括支援センター受託に対しての検討委員会を設置し、その中で介護保険事業等の取り扱いと方向性についても検討していくことにしている。法人全体が一体となり、役職員等が「共助・互助」の意識を持ちながら様々な取り組みを進めていくことと共に、経営・状況等分析を随時行いながら介護保険等事業の方向性を見つける必要がある。

□ 労働環境の整備と職員の資質向上

各事業の業務を遂行していくため、職員の士気向上を目指し、全職員を対象とした研修会、他機関主催の研修会等計画的・自主的な参加を推進してきた。また研修会を通して職場環境に関するアンケートを実施することにより今後取り組まなければならない課題も見えてきたところである。また職員のストレスチェックも実施したところであり引き続き安全かつ健康の確保に努めながら快適な職場環境づくりを推進していく。

ア) 地区社協合同会議の開催（全市）

【本所】平成 30 年 6 月 4 日 16 名出席

- * 内容 ・ 第 3 次地域福祉活動計画についての説明
- ・ 現在の取り組みと今後取り組んでいきたいことについて情報共有

イ) 地区社協会長・事務局長等会議の開催（各支所）

【浜田】第 1 回 11 名出席 第 2 回 12 名出席

【金城】13 名出席 【旭】 9 名出席 【三隅】8 名出席

- * 内容 ・ 平成 30 年度補助金について
- ・ 第 3 次地域福祉活動計画について
- ・ 小地域福祉活動計画策定について 他

②地区社協活動推進助成金の交付

* 助成総額 28 地区 8,535 千円

(財源内訳：共同募金財源 2,641 千円 自主財源 5,744 千円 補助金 150 千円)

(3) 福祉委員活動支援

①福祉委員連絡会・研修会・民生児童委員との連絡会等の開催

ア) 浜田・三隅福祉圏…各地区で開催

【浜田】5 地区開催 263 名出席 (民生児童委員・地区社協役員含む)

【三隅】6 地区開催 99 名出席 (民生児童委員・地区社協役員含む)

イ) 金城・旭・弥栄福祉圏…合同開催

【金城】第 1 回 68 名出席 第 2 回 45 名 (民生児童委員含む)

【旭】 40 名出席 (民生児童委員含む)

【弥栄】第 1 回 17 名出席 (福祉委員のみ)

第 2 回 (民生児童委員・福祉委員合同研修会として実施)

18 名出席 (民生児童委員含む)

②福祉委員活動支援

ア) ボランティア活動保険加入 (全市)

(4) 地域福祉活動推進助成事業 (申請額上限 5 万円)

* 助成団体 18 団体 (内新規申請団体 3 団体)

* 交付額 820,000 円 (50,000×14 団体・30,000×4 団体)

(5) その他の事業

* 「ふくし出前講座」の利用促進

【浜田】57 件 【金城】8 件 【旭】11 件

【弥栄】10 件 【三隅】5 件

合計 91 件



「民生児童委員と福祉委員の連絡会」
が未実施であった地区も逐次開催して
います



出前講座はサロンへのレクリエーション指導だけでなく、回想法や介護サービスについての説明など幅広く利用していただけるようメニューを準備している。また福祉講座や座談会といったメニューもあり、大人の福祉教育として広く住民全般に福祉に対する理解の促進を図ることを目標としている。

2. ボランティア活動と福祉教育の推進

第3次地域福祉活動計画のポイント

活動目標4 「浜田市ボランティアセンターの機能を強化する」

第2次ボランティア活動推進計画を、第3次地域福祉活動計画に内包したことから、本所ボランティアセンター運営委員会において、改めて計画の内容について確認、今後の運営方針について協議を進めた。支所においてもボランティア活動状況や有償ボランティア利用状況、また住民組織による有償ボランティアの組織化についてなど協議を進めた。

(1) ボランティアセンター事業の推進

①ボランティアセンター運営委員会の開催（各支所）

【本所】第1回9名出席 第2回9名出席

【金城】5名出席

【旭】第1回10名出席 第2回10名出席

【弥栄】7名出席

【三隅】2名出席

- *内容 ・第3次地域福祉活動計画について
・ボランティア活動状況について
・ボランティアセンター事業計画・事業報告について
・災害ボランティアセンター支援の状況について 他

②ボランティア活動ネットワーク会議の開催【三隅】

*期日 平成31年3月22日 出席者7名（ボランティア受け入れ施設関係者）

- *内容 ・ボランティア事業計画・事業報告について
・コーディネートの現状確認と意見交換

③住民参加型有償ボランティア制度の利用促進（金城・旭・弥栄）

【金城】活動件数45件 延45名

【旭】活動件数30件 延30名

【弥栄】活動件数172件 延558名



＊主な活動内容

- ・草刈・庭木選定・墓掃除・その他屋内外作業
- ・通院介助・買い物・話し相手 他

④ボランティア養成講座の開催

ア) 災害ボランティア研修会

＊平成31年1月12日 80名参加

イ) 認知症サポーター養成講座

＊平成30年10月17日 28名参加

ウ) あいサポーター養成講座

＊平成30年9月20日 19名参加

エ) はじめての手話

＊平成30年12月19日 17名参加

⑤ユニバーサルスポーツ普及事業【弥栄】

＊平成31年2月14日 於 老人福祉センター

＊平成31年2月21日 於 憩いの家

⑥シニア応援隊事業（会員17名 当年度3名増員）

＊会議の開催・第1回 平成30年5月22日 10名出席

第2回 平成30年8月29日 12名出席

第3回 平成30年12月26日 12名出席

第4回 平成31年2月12日 13名出席

＊企画

・浜田市健康福祉フェスティバル社協関係出店支援（10月21日）

・講演会の開催 平成31年3月3日 130名出席

「笑顔あふれ心つながるどじょうすくい」の輪

「安来節ちよっこし公演」

講師 野島優子氏

⑦企業ボランティア活動促進事業【三隅】

＊事業概要 建築組合員による住宅改修ボランティア実施

＊実績 23世帯 30か所の住宅等の修繕

＊期日 平成30年6月24日

⑧ボランティア情報紙の発行と情報発信の強化

＊発行状況 【浜田】9月・3月発行（ボランティア登録者へ配布）

【金城】6月・12月・3月発行（福祉圏全世帯配布）

【旭】11月・3月発行（福祉圏全世帯配布）

【弥栄】8月・3月発行（福祉圏全世帯配布）

【三隅】9月・3月発行（福祉圏全世帯配布）

※社協ホームページで閲覧可能



健康福祉フェスティバルでは多くのボランティアさんの協力により、餅つき、うどんの販売を行いました



建築組合による家屋修繕ボランティアのようす(三隅)

第3次地域福祉活動計画のポイント

活動目標2 『他人事』を『我が事』にするための福祉教育を進める」

児童生徒に対する福祉教育を引き続き進める。また今日的な課題解決のための福祉活動の充実を図るため、今後は大人の福祉教育についても取り組みを進めなければならない。今後「ふくし出前講座」の活用を含め、地域支援と福祉教育を合わせて進めていくことが必要。

(2) 福祉教育推進事業

①各学校福祉教育の取り組み支援

ア) ハンディキャップ体験（車椅子・ブラインドウォーク）・あいサポーター研修

【浜田】＊東 中学校 平成30年5月30日 2年生61名

＊周布小学校 平成31年2月27日 3年生47名

【金城】＊雲城小学校 平成30年11月13日 4年生23名

【旭】＊旭 小学校 平成30年6月21日 3年生21名

【三隅】＊三隅中学校 平成30年5月23日 1年生44名

＊三隅小学校 平成31年2月15日 3年生23名

イ) 高齢者との交流事業

【浜田】＊長浜小学校 平成30年7/12・11/8、平成31年2/14 3年生33名

・ふくっぴーサロン参加者との交流

【金城】＊雲城保育園 平成30年12月27日 園児11名

・さんあいデイサービスセンター利用者との交流



ウ) 障がい者との交流事業

【本所】＊三隅中学校 平成30年11月9日 1年生44名

・車いすバスケットを通じた交流会

【浜田】＊原井小学校 平成30年6月7・20日 3年生42名 + 保護者

・聴覚障がい者との交流会・手話を学ぼう

②幼稚園・小・中学校へ福祉教育推進助成金の交付（助成総額1,572千円）

③藤若氏からの寄付金を活用し金城自治区内小中学校に福祉図書整備（藤若文庫）（新）

④公民館を核とした福祉教育推進助成金の交付（助成総額873千円）【三隅】

⑤学校・公民館との福祉教育推進連絡会開催【三隅】

＊期日 平成30年5月30日 公民館5名 学校教諭5名出席

3. 高齢者支援事業

第3次地域福祉活動計画

活動目標1 「地域で『支えあいのまちづくり』を進める」

介護保険制度改正により国は高齢者自身による生活支援の仕組みづくりと生きがいづくりを通じた介護予防を進めようとしている。これを受け、本会では浜田市から生活支援体制整備事業を受託し、生活支援コーディネーター8名を配置し、集いの場所の空白地帯の解消や生活支援の仕組みづくりを地域に働きかける取り組みを進めている。また、社会福祉法改正による地域共生社会の実現に向けて同じ地域に暮らす住民全体の福祉が進むよう、関係機関・団体はもちろんのこと、他分野の機関・団体や企業との連携へ向けて動き出している。社協は地域福祉を進める中核的組織としてその機能と役割が果たせるよう、新しい取り組みを始めている。

(1) 生活支援体制整備事業の実施（浜田市委託事業）

①第一層協議体・地区ささえあい協議体の運営

- 第3層エリアに小地域見守りネットワークを構成していくための取り組みの推進
- 分野の異なる事業主体の連携を進めるための取り組みの推進

ア) 第1層協議体の開催

- *第1回 期日 平成30年7月30日 9名出席
内容 意見交換「つながり希薄解消に向けた取組み」～誰でも集える場づくり～他
- *第2回 期日 平成31年1月25日 9名出席
内容 意見交換「生活支援や見守りにつながるプラスαの取組みについて」

イ) 第2層協議体（各地区ささえあい協議体）の開催

*開催状況

- 浜田 (6/18・10/4・12/6)
- 石見 (6/29・12/5)
- 長浜 (6/28・12/19)
- 周布・大麻 (6/20・12/21)
- 美川 (6/26・12/4)
- 国府 (6/5・12/6)
- 金城 (6/28・12/20)
- 旭 (6/25・12/11)
- 弥栄 (6/27・12/14・3/19)
- 三隅 (6/22・12/7)

ウ) 関連事業の実施

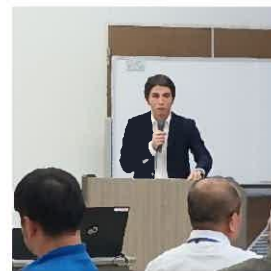
*ささえあい協議体委員研修・交流会の開催

- ・期日 平成30年10月15日 出席63名
- ・内容①島根県内・浜田市内における住民主体による移送サービス事業等の取り組み事例紹介
②市内事例紹介「楽々会あいのり買い物タクシー」の取り組み



協議体には、浜田市(地域づくり推進・地域包括ケア推進)、島根県(西部県民センター・中山間地域研究センター)の同席もあり、支えあいの地域づくりに、部署の枠を超えた横の連携が進みつつあります。

③意見交換「高齢者の暮らしを支える移動手段について」



島根県内、浜田市内の先進的な取り組みが共有できました。桜ヶ丘楽々会の「あいのり買物タクシー」の取り組みを動画で発表。日頃の交流・見守りができることや、地元タクシーと敬老乗車券を活用した合わせ技に参加者一同感心されていました。島根県立大学の松田准教授からも講評いただき、まずは、取り組みやすい活動から検討していくことなどアドバイスをいただきました。

＊地区ささえあい協議体の意見から地区サロン交流会の開催が広がる

- ・全市サロン交流会 出席 83 名
- ・浜田地区 出席 25 名
- ・石見地区 出席 47 名
- ・長浜地区 出席 35 名
- ・周布地区 出席 48 名
- ・国府地区 出席 38 名
- ・金城地区 出席 36 名
- ・旭 地区 出席 43 名
- ・弥栄地区 出席 12 名
- ・三隅地区 出席 91 名



国府地区 サロン交流会
「百歳体操」体験実施しました！



弥栄地区 サロン交流会
職員も一緒に、和やかな雰囲気情報交換できました♪

②生活支援コーディネーターの配置（8名）と活動の促進

- 引き続きサロン空白地帯の解消に向けた取り組みと生活支援の仕組みづくりを進める取り組みの推進
 - サロン活動を支援しプラスαの取り組み推進に向けた働きかけの推進
 - 「つながる・うまれる・ひろがる」活動の推進
- ア) 高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備
- ＊集いの場・生活支援に関わる活動のコーディネート
 - ・移動販売や出張販売事業主をつどいの場につなげる取り組み
 - ・公共交通機関やスーパーに理解・協力いただき「あいのり」で買い物できる取り組みの推進
 - ・サロン活性化のための取り組み（サロン支援訪問 199 回（出前講座を除く））
 - ・地域講師の紹介・助成金活用の紹介・レクリエーション器具等の貸し出し他
 - ＊住民のニーズ把握及び生活支援等サービスの整合



つどいの場に移動販売店をつなぎ、
でかけたついでに買物できるしくみが
できました。



コンビニやスーパー、企業にも必要な支
援や取り組みについて、提案や協力要
請などつながりを深めています。

- ・民生児童委員さんとまちあるき調査活動の継続実施（2年目）
 - ・浜田 16 地区 ・石見 24 地区 ・長浜 6 地区 ・周布大麻 2 地区
 - ・美川 1 地区 ・国府 15 地区 ・金城 32 地区 ・旭 18 地区
 - ・弥栄 1 地区 ・三隅 4 地区 合計 119 地区
- ・民生児童委員と福祉委員の連携の促進
 - 合同研修会での情報提供やグループワークのファシリテーターの役割
 - ・暮らしの「支えあい情報・集いの場」情報冊子の周知と活用
- * 公的機関及び民間の活動団体等関係者団体等のネットワークの構築
 - ・法人連携・施設、介護保険事業所等との連携
- イ) 生活支援の担い手の養成・サービス等の資源開発
 - * サロンのリーダー・担い手養成（サロン交流会の開催（再掲））
 - * 生活支援グループ等の立ち上げ支援（新）
 - ・旭町 今市地区「四つ葉助け愛隊」の立ち上げ支援
（県社協 新たなささえあいファンド補助金 100 万円 の活用・支援）
- ウ) 住民、各種団体への周知及び意識啓発
 - * 「ふくし出前講座」による周知・「大人の福祉教育」による意識啓発（再掲）
 - * 集いの場・ささえあい活動等身近な「福祉お宝活動」の見せる化
 - ・社協だよりに毎月シリーズ化し掲載
 - ・社協のホームページブログへ毎月投稿
 - ・動画や漫画を作成し、誰もが分かりやすく見守りや支えあいについて啓発
- エ) サロン活動の把握・新規立ち上げ支援・情報発信・運営支援
 - * サロン空白地帯解消に向けた取り組み
 - ・サロン新規開設（12 か所（内社協サロン立ち上げ支援助成金活用 9 か所））
 - ・その他サロンという形にこだわらず身近な仲間と顔を合わせられる「お茶飲み会」のような取り組みから応援し、集いの場の大切さを啓発。
- オ) 公民館を活用したサロンの運営（ふくっぴーサロン）
 - * 会場 浜田自治区内 13 会場（毎月 1 回）
 - * 回数 延開催回数 154 回
 - * 参加数 延 1,659 名
- ③ 高齢者サロン活動支援
 - * 高齢者サロン立ち上げのための助成支援（400 千円）

- ・新規 10 か所 ・継続 2 年目 6 か所 ・継続 3 年目 4 か所
- *担い手養成・サロンリーダー研修会（ふくっぴーサロンを活用して開催）
- ・期間 9 月 13 日～10 月 22 日の間 全 8 回
- ・内容 医療センター出前講座・特殊詐欺防止について・レクリエーション

（2）高齢者の生活支援の取り組み

- ①独居高齢者安否確認事業（弥栄ボランティアセンター事業）
 - *内容 毎月電話確認（民生児童委員の協力）
- ②食事提供見守りサービス（旭）
 - *対象 高齢者・障がい者 45 名 延 717 食提供
- ③粗大ごみ搬出支援事業（弥栄ボランティアセンター事業）
 - *期日 平成 30 年 11 月 17 日
- ④高齢者安心・安全生活推進事業（弥栄）
 - ア）電動車講習会（実技講習及び講義）
 - *期日 平成 30 年 5 月 11 日 6 名参加
 - イ）悪質商法撃退グラウンドゴルフ大会（競技及び警察からのお話）
 - *期日 平成 30 年 5 月 18 日 43 名参加
- ⑤歳末高齢者等支援事業（配食・友愛訪問・交流会）
 - *金城 12/25 配食数 84 食
 - *旭 12/26 配食数 116 食
 - *弥栄 12/25 配食数 115 食
 - *浜田 6 地区民児協にて歳末友愛訪問実施
 - *三隅 6 地区社協にて会食交流会・餅つき交流会等実施

（3）その他の取り組み

- ①敬老事業（浜田・金城・旭・三隅）
- ②一人暮らし高齢者交流会の開催（金城）
 - *期日 平成 30 年 10 月 11 日
 - *参加 60 名
- ③シニアスポーツ大会の開催（弥栄）
 - *期日 平成 30 年 9 月 7 日
 - *参加者 高齢者・保育園児 80 名参加



シニアスポーツ大会を楽しむ高齢者の皆さん(弥栄)

4. 子育て支援・児童青少年の健全育成を目的とした事業

（1）児童青少年の健全育成事業

- ①ボランティアスクール開催事業
 - ア）全市小学生 4 年生以上対象
 - 【本所】*小学生ボランティアスクール（会場 三保公民館・田ノ浦海岸）
 - ・期日 平成 30 年 8 月 7 日 4 年生以上 47 名参加

イ) 旭福祉圏中学生対象

【旭】 ＊サマーボランティアスクール

- ・期日 平成 30 年 8 月 20・21 日 2 年生 14 名
- ・内容 施設体験・聴覚障がい者のコミュニケーション方法や生活について考える・手話で話してみよう 他



障がい者の生活や意思疎通について学ぶことや、子どもや高齢者とのふれあい体験など内容充実(旭支所)

②青少年育成講座（みすみっ子集まれ）の開催【三隅】

- ＊期日 平成 30 年 8 月 4 日 子ども 98 名・保護者 57 名 計 155 名参加
- ＊内容 親子のふれあい・学び合いの場、紙芝居、民生児童委員とふれあい遊び他

③地域文化伝承事業（餅つき交流）【弥栄】

- ＊期日 平成 30 年 12 月 27 日

④みすみ習字事業助成支援【三隅】

(2) 子育て支援事業

①子育てサロン・子育て広場の開催（各支所）

【浜田】子育て広場の開催（各地区）

＊開催回数 55 回開催 ＊延 1,274 名参加

※高齢者支援・子育て支援連携の取り組みとして

＊第 1 回 すくすく・地域共催企画 「桜餅をつくろう」

・期日 平成 30 年 4 月 11 日

・参加者 親子 15 組 31 名・地域（高齢者サロンなでしこ）9 名参加

＊第 2 回 すくすく・地域共催企画 「レクリエーション」

・期日 平成 31 年 3 月 4 日

・参加者 親子 14 組 31 名・地域（高齢者サロンなでしこ）5 名参加

【その他支所】

子育てサロンの開催（金城）延 149 名（旭）延 145 名

（弥栄）延 84 名（三隅）延 271 名

②歳末助成事業 子育てサロン年末年始交流事業

【金城】クリスマス会（12/13）

節分鬼面づくり（1/10）参加 35 名

【旭】クリスマス会（12/18）参加 18 名

- 【弥栄】クリスマス会 (12/12) 参加 13 名
- ③子育て支援地域連絡会議開催 (浜田)
 - ④チャイルドシート貸出事業
 - *貸出件数 23 件

5. 障がい者支援事業

(1) 障がい児居場所づくり推進事業

- ①実行委員会 (関係者連絡会) 開催
 - *期日 平成 30 年 6 月 14 日 5 名出席
- ②障がい児放課後等デイサービス見学会 (研修事業) 実施
 - *期日 平成 30 年 8 月 23 日 9 名参加
 - *訪問先 こなみ・あしあと・ふわっと・ライディングパーク・ゆうはーと

(2) 聴覚障害者の支援 (浜田市委託事業)

- ①浜田市手話通訳者等・要約筆記奉仕員派遣事業
 - *手話 60 回 (82 名派遣) *要約筆記 23 回 (42 名派遣)
- ②浜田市専任通訳者設置事業
 - *通訳業務延 1,486 件 (手話)
- ③浜田市手話奉仕員養成事業
 - *2 年目 25 回講座 延 277 名 修了者数 11 名
- ④手話通訳者・要約筆記奉仕員等研修事業
 - *レベルアップ講座 (手話) 5 回開催 計 55 名参加
 - *レベルアップ講座 (要約筆記) 5 回開催 計 30 名参加

(3) その他の事業

- ①あいサポート運動推進事業
 - *開催回数 20 回 延 868 名受講
 - (H23 以降 総開催回数 198 回 総受講者数 5,780 名)
- ②島根県視覚障害者福祉大会助成 (H30 のみ) (助成額 50 千円)
- ③島根県ろうあ者大会助成 (H30 のみ) (助成額 50 千円)
- ④入居債務保証支援事業 (生活困窮者支援を兼ねる)
 - *新規 0 件 (相談 3 件) *継続 4 件

6. 高齢者・障がい者等の権利擁護事業

(1) 法人後見受任事業

- ①法人後見運営委員会開催
 - *期日 第 1 回 平成 30 年 9 月 19 日 委員 5 名・支援員 2 名出席

*内容 ・市民後見人講演会について・市民後見人フォローアップ研修について
・平成30年度受任状況

*期日 第2回 平成31年3月14日 委員6名出席

*内容 ・市民後見人講演会・市民後見人フォローアップ研修 報告
・平成30年度受任状況

②市民後見人講演会開催

*期日 平成30年12月15日(土) 参加者45名

③市民後見人フォローアップ研修

*期日 平成31年1月20日(日) 参加者14名

④法人後見業務

*受任状況・後見(5件)・保佐(8件)・補助(1件) 計14件受任中

*相談・対応件数 1,799件

(2) 日常生活自立支援事業(島根県社協委託事業)

①利用者の定例支援(及び支援調整)

*実利用件数 77名(新規8名・終了9名)

*福祉圏別件数 浜田57件、金城16件、旭1件、弥栄3件、三隅0件

*相談・対応件数 3,101件

②生活援助員との連絡会・ケース検討会開催

*期日 平成31年2月7日(木)、18日(月)、22日(金)

7. 生活困窮者の相談・支援事業

(1) 生活困窮者自立促進支援事業(浜田市委託事業)

①専任相談員 4名体制

*相談対応件数(本人)1,487件 (関係機関)2,404件

*新規相談件数124件(家族を含む)

②相談支援、法テラスとの連携

ア) 自立相談支援プラン(プラン決定46件、終結15件)

イ) 家計相談支援プラン(プラン決定37件、終結8件)

ウ) 就労準備支援プラン(プラン決定8件、終結1件)

エ) 就労支援プラン(プラン決定5件、終結1件)

③支援調整会議の開催

*毎月開催(ハローワーク・法テラス弁護士・浜田市保護係・相談員)

(2) 低所得者を対象とした資金貸付事業

①生活福祉資金貸付(島根県社協)に伴う業務

*相談件数304件

*貸付件数8件(福祉費2件・緊急小口資金4件・教育支援資金2件)

②民生融金貸付事業（上限5万円）

- *貸付件数2件 *貸付者2名（100千円）
- *償還件数17件 *償還者8名（103千円）
- *債務処理3件（134千円）

③緊急現金貸付事業（上限1万円）

- *貸付14件（浜田10件・金城1件・旭1件・三隅2件）119千円
- *償還15件（浜田11件・金城1件・旭1件・三隅2件）114千円
- *債務処理1件 10千円

(3) その他の支援

①フードバンク事業

- ア) フードドライブ（一人一品運動）実施 *1944品の協力
- イ) 困窮者に対する食糧支援 *45件 1,507品を支援

②入居債務保証支援事業（障がい者支援を兼ねる）（再掲）

8. 福祉に関する調査・広報活動

(1) 社協だよりの定期発行（毎月）及び支所だよりの発行

(2) 社協ホームページの随時更新

- ①Facebookの社協ページの運用
- ②社協ブログの運用

(3) はまだ市民福祉大会開催

- *期日：平成30年8月25日 312名出席
- *会場：県立大学 講堂
- *表彰・感謝：社協会長表彰6名・社協会長感謝1名
高連会長表彰5名／2団体
身障協会長表彰1名



講演 「めざそう、日本一^{はなはな}笑の街！！
今日からできる^{はなはな}笑笑コミュニケーション法」

講師 薬剤師・ポジティブ人生コンサルタント 占部千代子先生



(4) さんあい祭開催事業【金城】

*期日 平成30年10月27日 約400名参加

(5) 浜田社協未来塾（HSM）の活動推進

- ①市内イベント参加（社協 cafe 等の出店他）
 - *すくすくカフェ（平成30年6月14日）
 - *すくすく子どもまつり（平成30年7月7日）
 - *さんあい祭り（平成30年10月27日）
- ②社協PRキャラクターグッズ制作
 - *新デザイン3パターン
 - *鉛筆・蛍光マーカー



すくすくまつりでの未来塾活動のようす

(6) 市民懇話会・住民座談会の開催

- ①住民座談会の開催
 - 【旭】 5地区で開催 83名参加
 - 【弥栄】19か所で開催 161名参加

9. その他の福祉サービス・活動

(1) 交流拠点（ふれあいハウス利用貸出・管理）設置事業【弥栄】

*ふれあいハウス利用貸出（5回）

(2) 浜田市戦没者追悼式の開催（浜田市委託事業）

*期日 平成30年9月1日 76名出席

(3) 家族介護者交流事業（浜田市委託事業）

- ①家族介護者の集い開催
（各支所2回開催（弥栄支所を除く））
 - 【浜田】第1回19名参加 第2回27名参加
 - 【金城】第1回22名参加 第2回29名参加
 - 【旭】 第1回3名参加 第2回16名参加
 - 【三隅】第1回3名参加 第2回12名参加

介護者の集いでは遠方への
社会見学を盛り込み気分転換



(4) 生活支援サービス

- ①移送サービス事業（浜田市委託事業）【旭】
 - *利用回数 114回
- ②リフト車貸出事業【弥栄】利用実績なし
- ③福祉用具貸出事業（車椅子等）※介護保険認定者は不可
 - *車いすの貸し出し 62件（浜田33件・金城0件・旭0件・弥栄5件・三隅24件）
 - *その他 1件（金城1件（電動ベッド））

(5) 総合相談事業

①心配ごと相談所（金城・旭・弥栄・三隅）、総合相談所（浜田）開設

【浜田】開設 43 回 相談 24 件 【金城】開設 12 回 相談 10 件

【旭】開設 12 回 相談 10 件 【弥栄】開設 12 回 相談 0 件

【三隅】開設 12 回 相談 0 件

②法律相談所設置（浜田を除く各支所を毎月順番に開催：12 回）

*相談件数 17 件（金城 7 件・旭 4 件・弥栄 3 件・三隅 3 件）

③相談員交流研修会の開催【本所】

*期日 平成 31 年 3 月 14 日 出席 11 名

(6) 福祉バス運行事業（車両 3 台体制）継続実施

*運行回数 372 回 利用人数 8,851 人 走行距離 55,094 ㎞

第 3 次地域福祉活動計画のポイント

活動目標 6 「社会福祉法人連携による公益的な活動の推進」

すべての社会福祉法人は地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動を行わなければならないとされており、各法人においてその取り組みが進められています。さらに法人単独では対応が困難な生活課題や地域課題に対して、市内法人が連携して対応できる取り組みがないか、今後の協議により進める。

(7) 法人連携による地域公益活動連絡会開催（新）

ア) 第 1 回連絡会

*期日 平成 30 年 7 月 27 日

*対象 市内 34 法人へ案内 20 法人 21 名出席

- *内容 ・社協事業からみた市民の生活課題と地域課題について
- ・「第 3 次地域福祉活動計画」に位置づけた地域・生活支援について
- ・意見交換



法人連絡会では介護、障がい、保育関係 20 法人が参加し、今後の取り組みの可能性を協議しました

イ) 第 2 回連絡会

*期日 平成 31 年 3 月 12 日

*対象 市内 34 法人へ案内 14 法人 14 名出席

*内容 ・公益的な取り組みに関する情報共有

第3次地域福祉活動計画のポイント

活動目標3 「総合的・包括的な相談・支援体制に向けて」

活動目標7 「重層的な相談支援の体制・仕組みをつくる」

地域と行政や専門機関とをつなぐ接点をつくり、分野を超えて包括的な相談体制・支援体制を構築して行くことが必要であり、その仕組みについては関係機関との協議と合意形成が必要である。

(8) 浜田市との連携会議の開催

- ①健康福祉部との総合的・包括的な相談支援体制の構築に向けた協議
 - *健康福祉部との意見交換会開催
 - ・期日 平成30年5月10日
- ②地域政策部、教育委員会との連携について
 - *生活支援体制整備事業を通じた地域政策部・教育委員会との連携

10. 福祉関係団体・当事者団体支援

(1) 島根県共同募金会浜田市共同募金委員会事務局

- ①共同募金運動の実施
- ②共同募金助成事務

(2) 日本赤十字社島根県支部浜田市地区事務局

- ①赤十字運動月間 統一キャンペーンの事業開催
 - *社費納入事務（5月）
 - *災害時高齢者生活支援講習会（平成30年5月20日）
- ②赤十字奉仕団の支援と連携
 - *炊き出し・救急法に関する取次事務

(3) 福祉関係団体支援

- ①浜田市民生児童委員協議会事務局支援・助成支援
 - ア) 単位民生児童委員協議会事務局支援・助成支援（金城・旭・弥栄・三隅）
- ②浜田市高齢者クラブ連合会事務局支援・助成支援
 - ア) 高齢者クラブ連合会支部事務局支援・助成支援（金城・旭・弥栄・三隅）
- ③浜田市身体障害者福祉協会事務局支援・助成支援
 - ア) 浜田市身体障害者福祉協会支部事務局支援・助成支援
- ④浜田市手をつなぐ育成会金城支部助成支援

(4) 関係団体支援

- ①保護司会助成支援
- ②少年補導委員会助成支援

(5) 当事者団体支援

- ①ことばを育てる親の会助成支援（三隅）
- ②一人暮らし高齢者の会事務局支援・助成支援（弥栄・三隅）
- ③しまね分かち合いの会（自死遺族の会）支援

11. 公共施設管理運営事業（浜田市指定管理）

(1) 指定管理施設の運営

- ①浜田市総合福祉センター
 - *施設利用貸出 42,451名 *浴場利用
 - *城山大学・城山学級（ちぎり絵・陶芸・舞踊・書道・園芸・音楽・囲碁）
- ②浜田市金城高齢者生活福祉センター
 - *居住施設（いきいき苑）利用 延45名
- ③浜田市三隅老人福祉センターみすみ荘
 - *施設利用貸出 利用者1,062名
- ④浜田市三隅デイサービスセンター

12. 介護保険事業経営

(1) 介護保険・障がい福祉サービスの提供

- ①訪問介護事業の実施（浜田・金城（サテライト）・三隅）
- ②訪問入浴介護事業の実施（浜田・三隅）
- ③通所介護事業の実施（浜田・金城（地域密着型）・三隅）
- ④居宅介護支援事業の実施（浜田・金城・三隅）
- ⑤短期入所生活介護事業の実施（金城）
- ⑥障がい福祉サービス事業の実施（浜田・金城（サテライト）・三隅）

※ 概要・財源状況報告及び介護保険事業状況報告参照

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業サービスの提供

- ①介護予防訪問介護（従来型）事業の実施（浜田・金城（サテライト）・三隅）
- ②介護予防通所介護（従来型）事業の実施（浜田・金城・三隅）
- ③訪問型サービスA（緩和型）の実施（浜田・金城（サテライト）・三隅）
- ④通所型サービスA2（緩和型）の実施（金城）

※ 概要・財源状況報告及び介護保険事業状況報告参照

(3) 介護保険制度外サービスの提供

- ①訪問自費サービス事業の実施（浜田・金城（サテライト）・三隅）
- ②お持ち帰り弁当事業の実施（浜田（新規）・金城・三隅）

※ 概要・財源状況報告参照

(4) 第2期介護保険事業推進計画進捗管理

- ①金城支所答申に対する改善検討事項
- ②各事業及び全事業管理に関する取組事項
 - ・平成30年度の状況を検証し、取組を修正。

(5) 総務・地域福祉部門との連携

- ①会計ソフトを活用した各事業の経営状況把握及び意識向上
 - ・会計ソフト活用勉強会実施等
- ②地域における高齢者サロン活動等の支援としての出前講座の継続実施
 - ・介護支援専門員（浜田支所）講師対応（2回）
- ③地域福祉部門との連携による「地域包括ケアシステム」構築支援（随時）

13. 財政基盤の強化

(1) 会員募集による自主財源の確保

- ①社協の見える化・見せる化を図り、会員の増員の促進
 - ア) 社協会費 1口 800円 14,143,580円（17,679口） 18,911口以上
 - イ) 賛助会費 1口 2,000円 1,681,000円（ 840口） 962口以上
 - ウ) 特別会員 1口 5,000円 880,000円（ 176口） 224口以上
 - エ) ふるさと会員 1口 2,000円 203,000円（ 101口） 100口以上

(2) 効率的な経営感覚修得の推進

- ①管理的職員（局長・課長・支所長・係長）の経営意識の向上

(3) その他の取り組み

- ①福祉基金を含めた財源の使途及び運営の検討
- ②国・他団体等の助成事業の活用に向けた検討
 - 労働者健康安全機構・浜田地区安全運転管理協会助成金活用
- ③第3期財政計画の見直し（平成30年度修正）

14. 職員体制の整備と資質向上

(1) 定員適正化計画の策定

- ①業務量調査の実施（下期）
- ②職員採用計画の検討（下期）

(2) 職員の資格取得の促進（助成要綱の周知等）

- ①介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、看護師等

ドライブレコーダーの映像を活用した
職員安全運転講習会のようす



(3) 職員研修体系に基づく計画的な研修の実施

- ①人権同和・交通安全運転・ハラスメント・メンタルヘルス研修の実施

(4) ヒヤリハット報告、事故報告に基づく検証と業務改善

- ①ヒヤリハット報告 76件（浜田25件、金城22件、三隅29件）
- ②労働災害 0件
- ③介護等事故 4件（浜田1件、金城1件、三隅2件）
- ④車輛事故 16件（本所2件、浜田10件、金城2件、弥栄1件、三隅1件）
- ⑤その他 2件（浜田1件、弥栄1件）
- ⑥ドライブレコーダーの導入（9月）
（福祉バスを含む15台。浜田安全運転管理者協会助成を受ける）

(5) 全職員によるストレスチェック実施の推進

- ①安全衛生委員会の充実（2回開催）
 - ア) 第1回（4月）
 - *平成29年度心の健康づくり・安全衛生取り組み事項報告
 - *平成30年度心の健康づくり・安全衛生計画協議
 - イ) 第2回（10月）
 - *平成30年度上期心の健康づくり・安全衛生取り組み事項報告
 - *ハラスメント研修結果及び職場化環境等の調査結果について
 - *平成30年度ストレスチェック実施について
- ②専門家のサポート
- ③全職員を対象としたストレスチェック実施（95.8%）

(6) その他

- ①一般事業主行動計画実現に向けた職員体制（月3回ノー残業デー周知・取り組み）
- ②組織改革（生活福祉課事務所移設による一層の一体化）
- ③休暇取得促進等労務管理の体制強化（計画的取得の推進）
- ④職場環境調査の実施と対策（アンケート等実施）

- ア) たばこ対策取組宣言（平成 30 年 12 月 21 日）
- イ) ヘルス・マネジメント認定に向けた健康宣言（平成 30 年 12 月 25 日）
- ウ) しまね☆まめなカンパニー認定（平成 31 年 1 月 18 日）
- ⑤社内報発行による情報共有及び意識統一（毎月）
- ⑥フレッシュマン（指導担当者）制度による職員の指導及び育成
- ⑦職員間の相互理解及び人材定着・確保に向けた「職員の声」発信

社内報「シャワー！ニュース」を毎月発行。職員へタイムリーに情報を発信



15. 組織の充実

(1) 会議開催

- ①正副会長会の開催（6回）
- ②理事会、評議員会の開催（理事会6回、評議員会3回開催）
- ③監査会の開催（監査会2回、内部監査2回開催）
- ④部会の開催（法人運営部会2回、地域福祉部会1回、介護福祉部会2回開催）
- ⑤委員会の開催（地域福祉活動助成金審査会2回、VC運営委員会2回、法人後見運営委員会2回、地域包括支援センター検討委員会2回、苦情解決第三者委員会1回開催）
- ⑥各福祉圏福祉のまちづくり推進会議の開催（各福祉圏2回開催）
- ⑦内部会議の開催
- （企画調整会議12回、係長会議3回、経営会議3回、事業会議【定例又は随時開催】）
- ⑧目標設定（事業評価と企画票）及び事務事業評価を取り入れた活動サイクルの実施